

※第2回が新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、中止となったので今回を第3回とする。

【場 所】阿南医療センター 2階講義室 時 間：14:00～15:30

【参加者】 病院関係 寺嶋 吉保 （阿南医療センター）
館 美加 （阿南医療センター）
森 数江 （阿南医療センター）
高橋 英子 （阿南医療センター）
田神 由香 （阿南医療センター）
歯科衛生士 武田 美輪 （徳島県歯科医師会南部歯科連携室）
居宅介護支援 倉橋 智子 （居宅介護支援事業所ほっとピース）
小規模多機能 木村 賢徳 （ライフサポートキムラ）
阿南市役所 兼任 恵理 （地域共生推進課）
松崎 由美 （地域共生推進課）
是松 結 （地域共生推進課）
阿南市在宅医療・介護連携支援センター
湯浅 祐司

【欠席者】 在宅医師 瀬川 淳 （益崎胃腸科内科医院）
病院関係 前田 徹 （阿南医療センター）
羽坂 美保 （阿南医療センター）
阿南市在宅医療・介護連携支援センター
福島 咲由理（看護師）

①阿南医療センター挨拶

- ・寺嶋 吉保先生より挨拶

今年度はACPを年間通じて取り組みの柱として行っている。ACPについては全国でも力を入れており、今後、徳島県及び阿南市が先頭に立って取り組んでいかなければならない。ACPについては、5年前より考え方も進化しており様々な観点より議論されている。その人に寄り添った対応・取り組みが重要である。

阿南市もたまたま箱を作成しているが「もしもの時」（阿南市医療センター発行）のためにとセットで考えなければ、その人へのACP対応ができない。

今後も医療と介護の連携を多職種で意見を出し合って強化に繋げていきたい。

②意見交換会

《第3回ケアカフェについて》

目的：医療・介護従事者が顔の見える関係づくりを行うことで、連携の強化を図る。

開催日時：令和4年12月27日（火）15:30～17:00

会場：阿南医療センター2階講堂

講義内容：呼吸器について ※事例検討も含む

講師：阿南医療センター慢性呼吸器疾患看護認定看護師 田神 由香氏

開催方法：15:30～17:00（講義・事例検討グループワークを行う）

対象者：訪問看護・訪問介護・居宅介護支援事業所・特別養護老人ホーム・お世話センター・看護小規模多機能型居宅介護の職員・ワーキンググループメンバー
※新型コロナウイルス感染症対策とし、参加人数は上限50名とする。

- ・第2回が新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、中止となったので、第2回に予定をしていた呼吸器疾患の講義を行う。在宅酸素や施設での呼吸器疾患対応をメインにし、事例検討も含めてのグループワークとする。時間は90分を予定。

第3回は感染症を予定していたが、様々な研修や動画配信をしているので次回検討とする。

- ・参加者が持ち帰り、各施設で研修して頂き資質向上を目指す。そのために参加者の希望施設のみにQRコードを連絡する。また、配信は1週間として期限を定めて行い、個人情報等の情報漏洩の徹底を行う。撮影はケーブルテレビ阿南に依頼。

- ・種別については、講習内容に鑑み、訪問看護・訪問介護・居宅介護支援事業所・特別養護老人ホーム・お世話センター・看護小規模多機能型居宅介護の職員・ワーキンググループメンバーとし、新型コロナウイルス感染症対策として上限50人とする。

③在宅医療・介護についての情報交換

《介護側の意見》

- ・第7波で施設は陽性者が入院できないので、施設での対応となり困惑をした。特にケアハウスでは夜勤職員がいなく、緊急的に職員を配置する等の対応を行った。

- ・職員に陽性者が出て、大きい法人は応援職員等の対応ができていますが、一法人や民間施設は3・4人で対応して大変であった。
- ・医療との連携をもっと行いたいので、顔と顔の見える関係での研修等に参加したい。
- ・通所介護施設でクラスターが発生した事業所は再開までに1ヵ月を要した事業所もあった。

《医療側の意見》

- ・医療の陽性者の受入れは全て、県の入院調整係を通しての対応となっている。病院も受け入れてあげたいが、陽性者の状態や治療対応に応じて入院先も決められているので、その点を理解・周知して欲しい。
- ・一人暮らし等の独居の方はまずは、保健所に相談しての対応が迅速である。
- ・入院できなかった場合は、訪問看護や訪問介護を利用して生活の継続をしていくのが、現在の最善かと思われる。
- ・退院者の受入れ状況で特養・老健の空き状況が分かる仕組みはできないか？
⇒モデルケースで行い、実証していく。まずは小規模多機能型居宅介護で実践を行う。

④研修について

- ・第1回 阿南市多職種連携講演会が和4年12月7日（水）にひまわり会館で行われる。座長は島内科眼科医院の島孝仁先生で、アップル調剤薬局の薬剤師の村田拓也先生が多職種連携の薬剤師の役割、阿南医療センター寺嶋吉保先生がACPについて講演を行う。多職種連携についての貴重な講演であるので多くの職員が学んでほしい。福祉関係は、在宅医療・介護連携支援センターが開催しているサービス事業所連絡会で各部会長より案内を行っている。

⑤その他

- ・阿南市在宅医療・介護連携促進ワーキンググループ会議委員で3名が体調不良・退職等で今年度の委員継続ができなくなったが現在の委員でも協議に問題はない。また、連携推進会議でワーキンググループ会議の報告をした際に、薬剤師会の内田委員よりワーキンググループ会議に参加したいとの意見もあった。皆様のご意見を聞き、薬剤師の委員はいないので新たな委員として参加して頂き、多職種連携強化に繋げることとなった。
- ・阿南医療センターの図書館は現在、運営方法の協議中でまずは医療・介護従事者を対象に利用開始を予定している。

【会議風景】

